

3 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると次のとおりである。

食 料

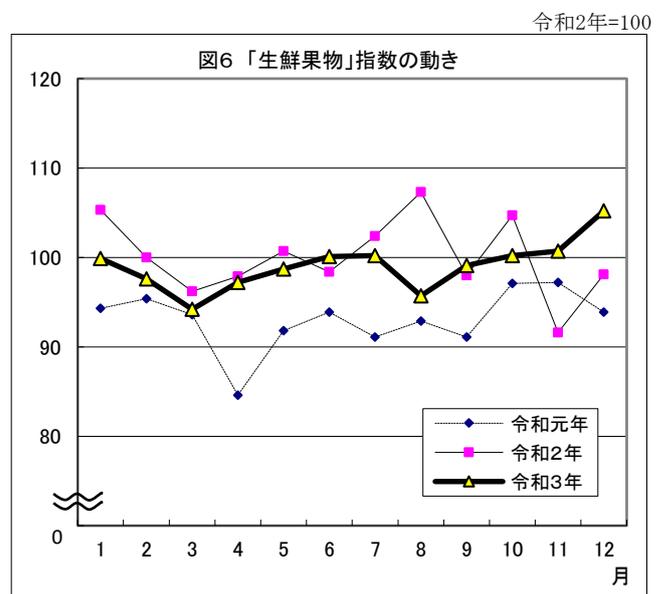
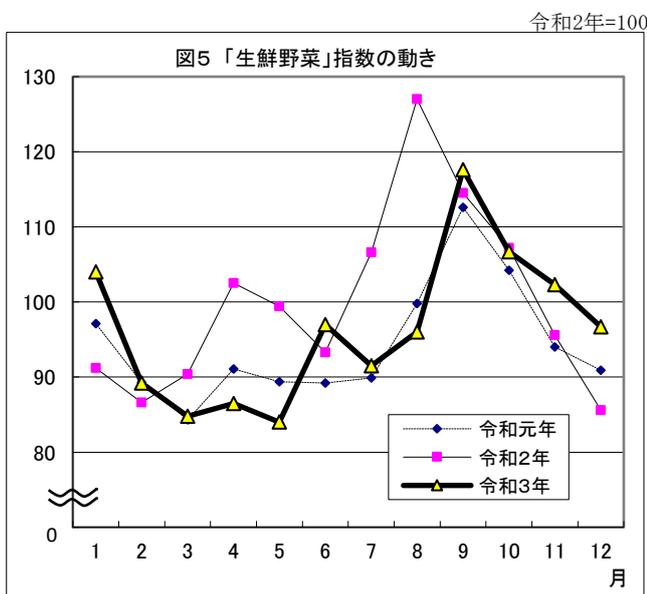
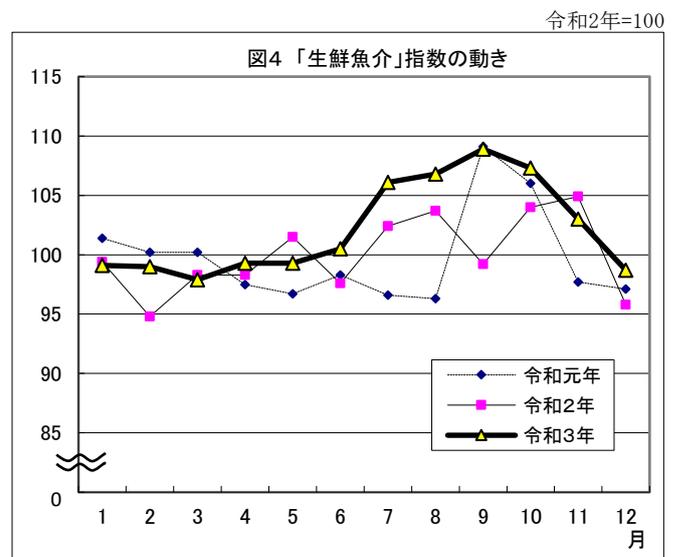
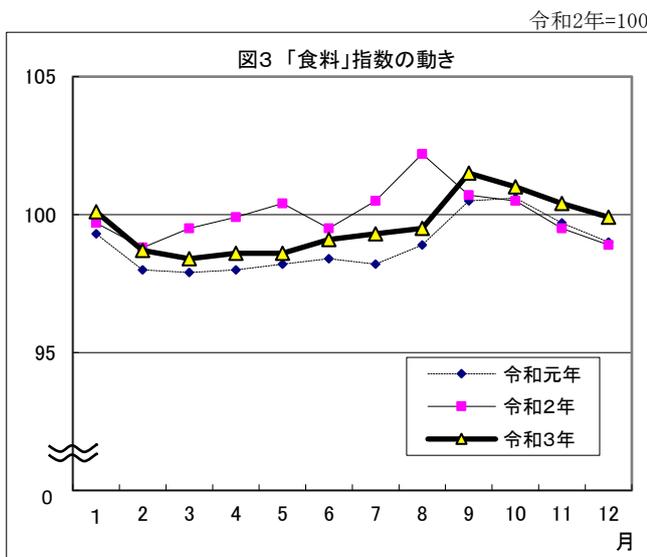
令和3年平均は99.6となり、令和2年平均に比べ(-)0.4%の下落となった。

内訳をみると、野菜・海藻 (-) 2.1%、穀類 (-) 2.0%、飲料 (-) 1.5%、肉類 (-) 1.1%、 果物(-)1.1%、調理食品(-)0.7%とそれぞれ下落した。

一方、酒類(+1.5%、魚介類(+0.9%、外食 (+)0.7%、菓子類 (+) 0.3%、油脂・調味料 (+) 0.3%、乳卵類 (+) 0.2%とそれぞれ上昇した。

生鮮食品についてみると、生鮮野菜(-)3.6%、生鮮果物(-)0.9%、生鮮魚介(+2.2%となり、生鮮食品全体では(-)1.3%の下落となった。

※ なお、月々の動きはグラフのとおり。(以下同じ)

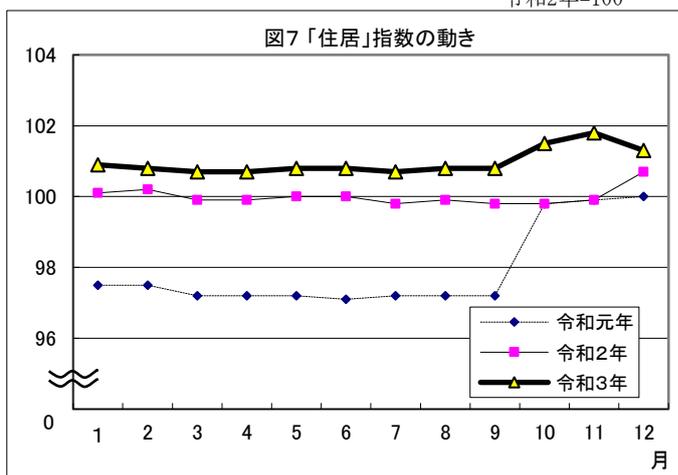


住 居

令和3年平均は101.0となり、令和2年平均に比べ(+) 1.0% の上昇となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は(+) 1.1% 、家賃は(+) 0.9% の上昇となった。

令和2年=100



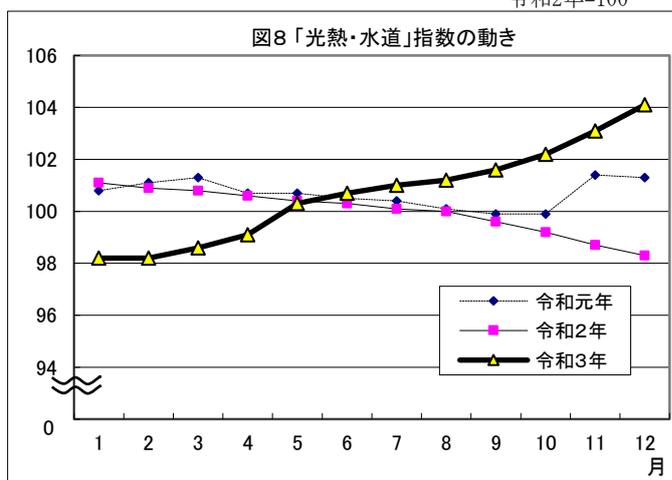
光熱・水道

令和3年平均は100.7となり、令和2年平均に比べ(+) 0.7% の上昇となった。

内訳をみると、上下水道料は変わらず。他の光熱は(+) 11.1% 、電気代は(+) 0.8% の上昇となった。

一方、ガス代は(-) 0.3% の下落となった。

令和2年=100



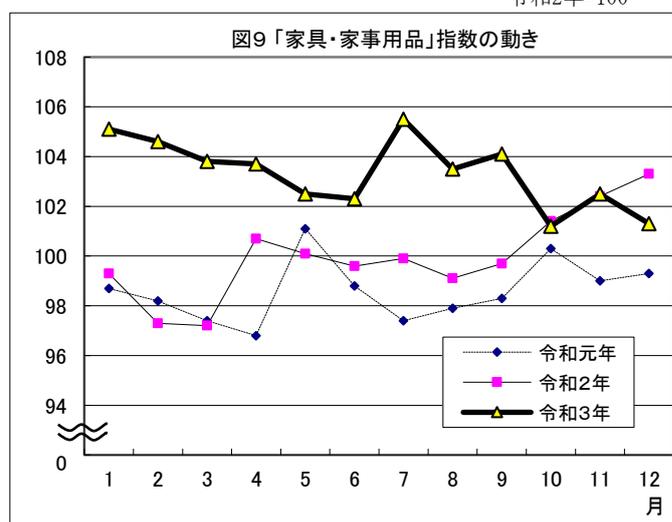
家具・家事用品

令和3年平均は103.3となり、令和2年平均に比べ(+) 3.3% の上昇となった。

内訳をみると、家庭用耐久財は(+) 5.8% 、家事用消耗品は(+) 5.1% 、家事雑貨は(+) 2.8% 、室内装備品は(+) 0.3% 、家事サービスは(+) 0.1% の上昇となった。

一方、寝具類は(-) 5.4% の下落となった。

令和2年=100



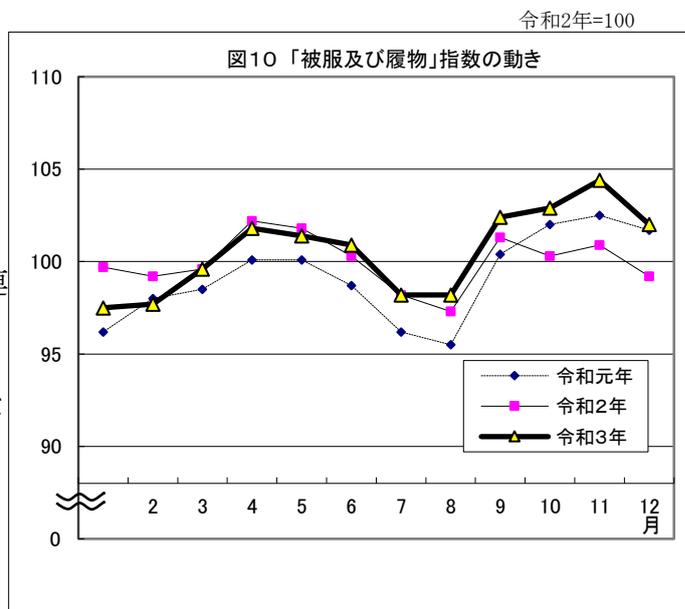
被服及び履物

令和3年平均は100.6となり、令和2年平均に比べ(+) 0.6% の上昇となった。

内訳をみると、和服は変わらず。

シャツ・セーター類は(+) 2.8% 、被服関連サービスは(+) 2.6% 、他の被服は(+) 1.9% 、洋服は(+) 1.4% 、下着類は(+) 0.1% の上昇となった。

一方、履物類は(-) 7.5% の下落となった。

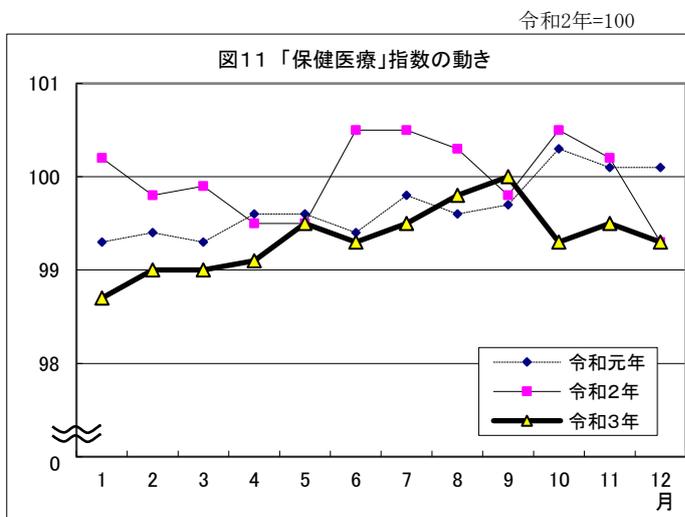


保健医療

令和3年平均は99.3となり、令和2年平均に比べ(-) 0.7% の下落となった。

内訳をみると、保健医療用品・器具は(-) 2.9% 、保健医療サービスは(-) 0.6% の下落となった。

一方、医薬品・健康保持用摂取品は(+) 0.8% の上昇となった。

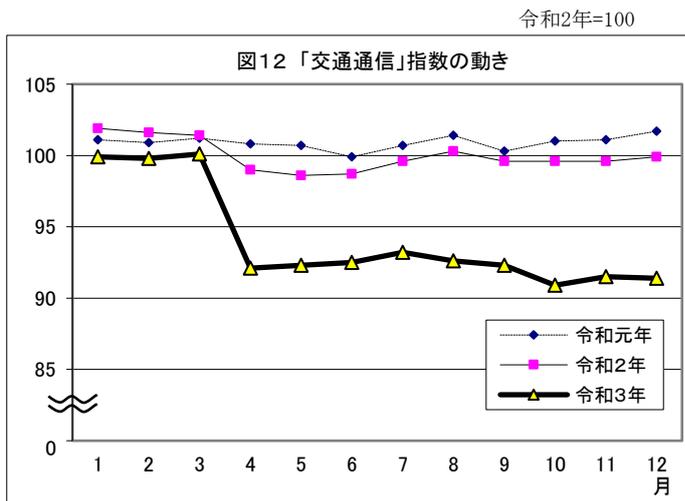


交通・通信

令和3年平均は94.1となり、令和2年平均に比べ(-) 5.9% の下落となった。

内訳をみると、通信は(-) 22.4% の下落となった。

一方、自動車等関係費は(+) 2.0% 、交通は(+) 0.5% の上昇となった。

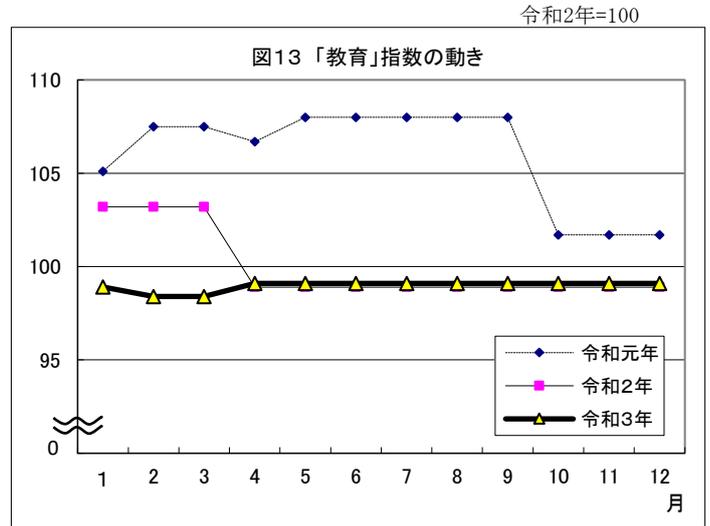


教 育

令和3年平均は99.0となり、令和2年平均に比べ(-)1.0%の下落となった。

内訳をみると、補習教育は(-)1.1%、授業料等は(-)1.0%の下落となった。

一方、教科書・学習参考教材は(+)0.2%の上昇となった。

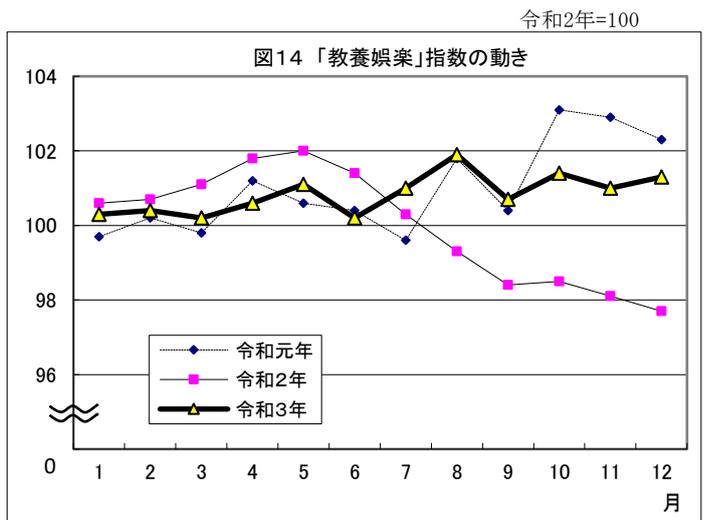


教 養 娯 楽

令和3年平均は100.8となり、令和2年平均に比べ(+)0.8%の上昇となった。

内訳をみると、教養娯楽サービスは(+)2.4%、書籍・他の印刷物は(+)1.1%の上昇となった。

一方、教養娯楽用耐久財は(-)2.0%、教養娯楽用品は(-)1.9%の下落となった。



諸 雑 費

令和3年平均は101.0となり、令和2年平均に比べ(+)1.0%の上昇となった。

内訳をみると、たばこは(+)8.5%、他の諸雑費は(+)1.8%、身の回り用品は(+)1.5%、理美容サービスは(+)0.6%の上昇となった。

一方、理美容用品は(-)1.3%の下落となった。

